

スローワーク

Vol.9

slow work 寄り添い・祈り

累計ワーカー総数
6,644名

(2011年3月15日～2014年12月27日)



震災4年目を迎えて

日本基督教団 東日本大震災救援対策本部
担当幹事 飯島 信

心に残る言葉がある。それは、その人しか語り得ない言葉だからだと思う。ボランティアに参加した高校生の言葉、エマオ仙台で働くスタッフの言葉、そして息子を送り出した台湾基督長老教会【*】の母親の言葉…。その何れもが私の心に残り続けている。

「(被災した畑を)遠くから見て、きらきら輝いていたものは、ガラスの破片だった。」

「スローワークというスローガンは、単にワークをこなせばいいという考えを否定し、私たちは、まず人と出会わなければならないよ、ということを伝えているのです。」

「日本にワークに行って、息子は変わりました。これまで親にとっては辛い存在でしかなかった息子が、生まれ変わりました。」

必要のない経験であったかも知れない。出来る事なら遭って欲しくない経験であったかも知れない。しかし、被災の現実を受け止め、そのことに正面から向き合いつつ、自らの生きる時間を被災地で費やしたボランティアやスタッフ達は、その流した汗と人々に寄り添うことを通して、どれだけの宝を天に積んだことかと思う。盗まれることも、傷つけられることもない天に、自分しか積むことの出来ない宝を。

エマオを訪れた数千のボランティア達、スタッフと

して働いた数十名の人々、彼らがこの地で費やした膨大な時間と労力は、形を変え、この地に生きる人々にとっての生きる希望となり、力となった。そして今もなお、この希望は、力は、絶えることなく人々の心に湧き続けている。私はそう信じている。

相馬の地を訪れた時、立ち入り禁止区域内には幾つもの廃屋があった。

何故、と問うのはよそう。

今日を生き、そして明日に向かって生きよう。

疲れたら疲れたと言って休もう。

辛かったら、辛いと言って、癒される時を待とう。

それを許し、受け入れ合う仲間が、ここ、エマオにはいる。

「あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ。」

(マタイによる福音書 第6章21節)



【*】台湾基督長老教会(PCT)は、台湾で最大のキリスト教・プロテスタントの教派です。日本基督教団とPCTは、1963年に宣教協力を結び、共に歩んできました。

2012年には94人、2013年には63人、2014年には32人の青年ワーカー4～5チームをそれぞれ約2週間派遣していただきました。2015年にも、派遣して下さるというお話をいただいています。多額の献金も捧げてくださっています。温かいご支援に心から感謝いたします。



(台湾基督長老教会から派遣された青年ワーカーとスタッフ)

- ★仮設住宅でのお茶っこ・昼食会
- ★津波被災農家などの生活再建支援
- ★在宅者、仮設住宅の方々への訪問、傾聴
- ★ささっこクラブ（こどもプログラム）



あすと長町仮設住宅訪問

あすと長町仮設住宅は、仙台市で最大規模の仮設住宅です。エマオでは2014年夏から月1回の映画上映会をさせていただいています。同年秋からは仙台松陵教会の皆さまと共に活動しています。当日の参加レポートを、仙台松陵教会信徒の村山多恵子さんが書いてくださいました。

エマオで行っている、あすと長町仮設住宅支援に松陵教会として協力することが決まり、10月から参加しています。月に1度、第2金曜日午前10時から映画上映会のお手伝いです。10月は『釣りのバカ日誌』、11月は『蒲田行進曲』、12月は『鉄道員(ぼっぼや)』が上映されました。暗くならないようにと、映画の選択には毎回苦慮されているようです。

映画を観た後、コーヒーと軽食で少しの時間ですが歓談の時を持ちます。映写機器、茶菓や軽食の準備は全てエマオの方が整えてくださるので、私たちの仕事といえば会場の椅子やテーブルの準備とお茶やサンドウィッチの盛り付け、お茶のサービス位。そして住民の方たちと一緒に映画を観て、お茶を飲みお菓子やサンドウィッチを頂きながらおしゃべりしてきます。

大変な体験をされ、4年近く経とうとする今なお仮設住宅での暮らしを余儀なくされている方たちの心身のストレスを量り知ることは私にはとても出来ませんが、一緒に時間を過ごさせていただくことで、身近な現実であることを再認識しています。

来年の3月の予定だった長町の復興公営住宅の完成が延び、しばらくの間、映画会は続けるとのこと。次は何かな？と楽しみにしつつ、息長く続けていければと思います。

村山多恵子（仙台松陵教会信徒）：仙台松陵教会機関誌『松籠』第10号より



ネギ畑から

ネギは1年がかりで栽培するので、継続的に出荷するためにも広い畑で数えきれない数のネギを栽培します。

これは出荷の為に抜いたわけではありません。このネギをもっと太く、柔らかく、甘くするために植替えをします。束ねたネギを軽トラックいっぱい積んで別の畑へ…抜く作業、束ねる作業、運ぶ作業、中々大変な作業です。この植え方がポイント!!! これぞ「仙台曲がりネギ」の植え方です。

斜めに植えて土をかけて、それでもネギは自然と起き上がってまっすぐ太陽に向かって伸びます。

そして、土の下の白い部分が曲がるわけです。柔らかく、甘いネギを作るためにこのような手間がかかっています。

休憩中に畑の持ち主Hさんがしみじみと話してくれました。

「このネギ畑がエマオにワークを頼んだ初めての場所。津波の被害で畑には、がれきや石ころ、ヘドロが入り込み使える状態ではなかった。」と。

ワークがつながって今のワークがあるという事を感じさせてもらった一日でした。

千葉正彦（仙台スタッフ）

before



after



ささっこクリスマス

2014年12月23日（火）から25日（木）まで、ささっこ冬休みを行いました。24日（水）は、クリスマスイブ。午後から、クリスマス会をしました。今回のサンタさんは、こどもたちも見たことがある、地域のあの方でした。当日お願いをしてしまったのにも関わらず、快く引き受けて下さり、こどもたちにも一人ずつ声をかけていただきました。本当に有難く感謝しております。

そして、この時こどもたちに配らせていただいたものが、皆さまから頂いた献品です。こどもたちのためにとプレゼントを包装して送って頂いた方もいらっしゃいました。また、献品の呼びかけをさせていただいたけん玉も、計11個手渡すことが出来、現在こどもたちと一緒に有難く使わせていただいております。ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

八田美夕（仙台スタッフ）



エマオ石巻

近況

- ★仮設住宅でのお茶っこ・昼食会
- ★生活再建支援
- ★在宅者、仮設住宅の方々へ訪問、傾聴
- ★地域の他団体イベント支援
- ★いしのまきっこ広場（こどもプログラム）



内海緑さんコンサート in 石巻

2014年11月28日（金）は、青葉西第2団地でのコンサートでした。ここでは、毎日集会所が開いていて、誰でも自由に入りが出来、行くと誰かが出迎えてくださる、とてもアットホームな仮設団地です。この日も折り紙のとても上手な女性が、折り紙の種分け作業をしておられました。

横で準備をさせていただいていると、「みんなに声掛けて来るからね」と言ってくさったので、一緒に皆さんに声掛けに回らせていただきました。ゆったりと集まってくさり、コンサートスタートです！

初めは少し緊張されていた様子でしたが、おなかの底から声を出す練習をすると、徐々に声が出てきて、たくさん曲と一緒に歌い、楽しんでくださいました。ここでもやはり『斉太郎節』は欠かせません。誰もが自然と口ずさめて、手拍子をして音頭をとれる、故郷の曲があるのはとても素敵なことだなあと感じました。

今回コンサートに来てくださった内海緑（うつみ みどり）さんは、奈良にお住まいの音楽家の方で、同じ教会のエマオリピーターの方に、「私でも何か出来ることはありますか？」とエマオに来ることを相談されたそうです。その際「緑さん、宮城の皆さまに歌を聴かせて、一緒に歌ってよ」と声をかけられたことがきっかけで、今回のコンサートが実現したと聴かせていただきました。コンサートが決まってからも、とても丁寧に打ち合わせをしてくさり沢山の準備をしてくさりました。緑さんと一緒に来てくださった、同教会の方々も会場を盛り上げてくださり、途中はどっちがメインか分からない程に…。

素敵な時間を本当にありがとうございました。音楽を通して、たくさんの方々の元気な姿と笑顔を見ることが出来、改めて音楽の力を感じました。

西田紗代子（石巻スタッフ）



2014年11月まきっこ報告

2014年11月15日（土）、秋の葉っぱや木の実を作って工作を行いました。本格的には冬を迎えた石巻、今朝は部屋の中でも息が白かったです。

初めの会が終わると、まずはみんなでおらほのラジオ体操&妖怪ウォッチ体操です。

音楽がかかると、みんなノリノリで元気に体操してくれました。

体操が終わると工作スタートです!!

みんな思い思いに木の実や葉っぱを使って、遊び道具を作ったりかわいい置物を作ったりお友達と相談しながら、一生懸命作りました。

作品作りの途中から、なぜか糸電話作りが始まり、「家がお隣だから、家と家の間で糸電話するの!」ととっても長い糸電話を作っている子もいました。

こどもたちの自由な発想と創造力がいっぱいの楽しいまきっこになりました。

まきっこワーカーさん、絶賛募集中です。

よろしくお願ひします!!



西田紗代子（石巻スタッフ）



「エマオ・メールマガジン」を、

毎月11日に、「11246」を覚えて、約1,100通配信しています。

エマオのいまを知りたい方、

仙台や石巻のいまを知りたい方、

配信を希望される方は、お名前と配信してほしいメールアドレスを、tohoku.uccj+add@gmail.comまで、お知らせください。

それぞれの

「かわら版」発行中!!

笹屋敷・石巻地区のために

仮設住宅のために

こどもたちのために

エマオ石巻では

諸教会のために

『ささへあう』

『よいしょ〜!!』

『ささっこ通信』

『あばい〜ん』

『共に生きる』

支援金のお願い

これからも、この活動を続けていくために、引き続きお支えくださいますようお願いいたします。

支援金はこちらまでお願いいたします

<振込方法>

①ゆうちょ銀行振替口座

口座記号番号：02220-5-137681

加入者名：日本基督教団東北教区

②ゆうちょ銀行総合口座

記号番号：18180-9624941

口座名義名：日本基督教団東北教区



※領収書を発行いたします。お手数ですが、金額、住所、お名前を、日本基督教団東北教区事務所（022-222-0998）まで、ご連絡をお願いいたします。

支会会計報告(2011年3月～2014年12月末)

温かいご支援に心より感謝いたします。

支出の部

事業費	3,787,289
人件費	62,193,845
事務費	19,885,825
活動費	9,015,680
旅費交通費	3,840,931
車両費	12,339,015
繰越金	596,064
合計	111,658,649

Information おしらせ掲示板

『フィールドスタディツアー』に行きませんか？

いま、どのような支援が行われているのか、そしてどのような支援が求められているのか。この地に足を運び、からだ全体で受け止めていただけないでしょうか。

例えば…

★仙台・関上コース（8:00出発→14:00エマオ到着）

★石巻コース（8:00出発→17:30エマオ到着）ほか

※コースやスケジュールはご要望に合わせて調整致します。

【定員】2名以上から実施

【参加費】500円

（旅行傷害保険に加入）

※食代は自己負担。

【交通手段】

当センターの自動車など



『報告会』を開かせてください！

当センタースタッフが皆さまの教会や諸教会にお伺いして、活動報告会を開かせていただけないでしょうか。その席で、皆さまからの率直なご意見などをお聞きして、活動をつなげていきたいのです。

【時間】40分程度～

【内容】被災地のいま、被災者ワークのいま、そしてこれからのについて ほか

【資料】必要部数を当センターで、準備。

【交通費】ご相談に応じます。



※

※

新たな仲間が加わりました。

エマオ石巻の平田信之前専従者、中野可菜・原あきほ両スタッフが、ここの働きを終え新たな歩みを始めました。これまでの働きに感謝し、その歩みが神様によって守られますように、お祈りいたします。新たに、エマオ石巻に深谷有基新専従者・深山鷹一スタッフが、エマオ仙台に有村信哉スタッフが加わりました。この体制で、エマオの活動をつないでまいります。どうぞよろしくお祈りいたします。

『被災地に来た若者たち』がDVDになりました!!

（詳しくは→<http://doi-toshikuni.net/j/hisaichi/>）

フリー・ジャーナリストの土井敏邦さんは、震災直後から何度も被災地に通われています。その度にエマオに寄ってくださり、撮りためてきたものが、DVDになりました。元スタッフたちに焦点を当て、「被災地」での経験を振り返り、いまどうその経験が活かされているのか。かなり掘り下げた内容になっています。



スタッフ

被災者支援センター長

上野和明

教団派遣専従者

佐藤真史・深谷有基

エマオ石巻チャプレン

関川祐一郎

エマオ仙台スタッフ

有村信哉・菊池護・千葉正彦・高橋千沙子・田中献一・八田美夕

エマオ石巻スタッフ

西田紗代子・深山鷹一・鎌田仁美

事務スタッフ

戸枝季子・永野香織・畑屋武志・新井ななえ（JOCS）

日本キリスト教団東北教区被災者支援センター・エマオ

〒980-0012 宮城県仙台市青葉区錦町1-13-6 2階

Tel 022-265-0173 Fax 022-265-0174 ✉ tohoku.uccj@gmail.com

公式ブログサイト <http://amba.to/tohokuuccj>

Facebook <http://www.facebook.com/emmaus.sendai>

